

鶏肉情勢

令和2年7月3日 更新

全農チキンフーズ(株)

項目		内容		実績																																																																																																
生	1. 国内	<p>(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会6月下旬実施)によると、5月の推計実績は、処理羽数59,699千羽(前年比99.5%)・処理重量179.1千ト(同97.9%)となり、前月時点の計画値と比較すると処理羽数(同99.6%)は若干下回ったものの、処理重量(同97.1%)については増体が良くやや上回った。地区別では中部地区の処理重量(同100.1%から同97.7%)が下回った分、主要産地である北海道・東北地区(同95.7%から同97.6%)・北部九州地区(同96.4%から同98.2%)がカバーした形となった。</p> <p>(2) 6月は処理羽数(前年比104.7%)・処理重量(同102.0%)とも前月時点の予測と変わらず前年を上回る計画。7月も同じく処理羽数(同102.0%)は増加するも、増体が鈍るとの予測から処理重量(同99.3%)は下回る計画となっている。8月は逆に処理羽数(同99.0%)は下回るものの、処理重量(同100.0%)は前年並みを見込んでいる。新型コロナウイルスの感染拡大の影響は鳥インフルエンザ発生の場合と異なり、生産面で直接の影響はないものの、処理場従業員が罹患した場合のBCP対策が課題になると考えられているが、現時点で大きな問題は生じていない。消費面では、インバウンド需要・外食向けの激減、大規模イベント等の中止・自粛や夜間の外出自粛等による消費の落ち込みが続いている。国産鶏肉に関しては、内食需要により生協・量販店等では一時期程ではないが好調をキープしている。今後も自粛ムードが長期化すれば、一定の内食需要は継続すると思われるため、猛暑の影響も想定されるが鶏肉相場は当面弱保合が予測される。</p>		<p>生産状況 単位:千羽、千トン、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2年5月推計実績</th> <th colspan="2">R2年6月計画</th> <th colspan="2">R2年7月計画</th> <th colspan="2">R2年8月計画</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入雛羽数</td> <td>62,554</td> <td>101.2%</td> <td>59,443</td> <td>103.8%</td> <td>62,382</td> <td>102.0%</td> <td>62,869</td> <td>98.6%</td> </tr> <tr> <td>処理羽数</td> <td>59,699</td> <td>99.5%</td> <td>59,694</td> <td>104.7%</td> <td>58,941</td> <td>102.0%</td> <td>56,910</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td>処理重量</td> <td>179.1</td> <td>97.9%</td> <td>177.2</td> <td>102.0%</td> <td>172.9</td> <td>99.3%</td> <td>167.2</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」</p>									R2年5月推計実績		R2年6月計画		R2年7月計画		R2年8月計画		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	入雛羽数	62,554	101.2%	59,443	103.8%	62,382	102.0%	62,869	98.6%	処理羽数	59,699	99.5%	59,694	104.7%	58,941	102.0%	56,910	99.0%	処理重量	179.1	97.9%	177.2	102.0%	172.9	99.3%	167.2	100.0%																																													
		R2年5月推計実績		R2年6月計画		R2年7月計画		R2年8月計画																																																																																												
数量		前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比																																																																																												
入雛羽数	62,554	101.2%	59,443	103.8%	62,382	102.0%	62,869	98.6%																																																																																												
処理羽数	59,699	99.5%	59,694	104.7%	58,941	102.0%	56,910	99.0%																																																																																												
処理重量	179.1	97.9%	177.2	102.0%	172.9	99.3%	167.2	100.0%																																																																																												
産	2. 輸入	<p>(1) 財務省が6月26日に公表した貿易統計によると、5月の鶏肉(原料肉)輸入量は36.1千ト(前年比77.5%)で、日本食肉輸出入協会の現地積み出し数量と検疫数量をもとに出した予測(41.45千ト)を約5.35千ト下回り、40千ト未満は昨年3月(39.55千ト)以来となった。国別ではブラジルが予測を約4.0千ト下回る25.99千ト(同70.7%)、タイも約1.31千ト下回る8.68千ト(同103.5%)となった。1-5月累計でも前年比0.8%減となっている。同協会(6月22日公表)によると6月はタイが前年水準を超える(113.9%)ことから44.40千ト(同102.4%)、7月は逆にブラジルが昨年同月が多かった(39.7千ト)反動(同95.0%)で49.0千ト(同92.1%)と予測されている。今回も前月同様新型コロナウイルス感染拡大を受けて書面開催となったためコメントはなしとなった。全国的に緊急事態宣言が解除されたものの外食需要の回復には時間を要するとみられ苦戦はしばらく続くと思われる。</p> <p>(2) 鶏肉調整品の5月輸入量は36.58千ト(前年比89.2%)と、前月より約7.8千ト減少し、前年も下回った。国別ではタイ産が前月から約2.7千ト減少し前年比97.2%の24.3千ト、中国産も前月比約5.0千ト減の11.95千ト(同77.3%)となった。1-5月累計でも1-2月の減少が大きく94.6%と1-4月累計(同95.9%)よりさらに悪化した。6月以降についても、流動的で中国の動向次第ではあるが国内向け需要増もあり調整品全体の輸入減少が見込まれる。</p>		<p>輸入動向 単位:千トン、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">鶏肉</th> <th colspan="3">調製品</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="2">比率</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>鶏肉</th> <th>調製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年2月</td> <td>43.9</td> <td>41.5</td> <td>105.9</td> <td>32.0</td> <td>35.4</td> <td>90.3</td> <td>75.9</td> <td>76.9</td> <td>98.7</td> <td>57.9</td> <td>42.1</td> </tr> <tr> <td>R2年3月</td> <td>46.7</td> <td>39.6</td> <td>118.1</td> <td>42.7</td> <td>42.5</td> <td>100.4</td> <td>89.4</td> <td>82.1</td> <td>108.9</td> <td>52.2</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>46.7</td> <td>47.3</td> <td>98.8</td> <td>44.4</td> <td>44.8</td> <td>99.1</td> <td>91.1</td> <td>92.1</td> <td>98.9</td> <td>51.3</td> <td>48.7</td> </tr> <tr> <td>R2年5月</td> <td>36.1</td> <td>46.6</td> <td>77.5</td> <td>36.6</td> <td>41.0</td> <td>89.2</td> <td>72.7</td> <td>87.6</td> <td>83.0</td> <td>49.7</td> <td>50.3</td> </tr> <tr> <td>R2年累計</td> <td>215.0</td> <td>216.8</td> <td>99.2</td> <td>195.0</td> <td>206.2</td> <td>94.6</td> <td>410.0</td> <td>423.0</td> <td>96.9</td> <td>52.4</td> <td>47.6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞</p>								品名	鶏肉			調製品			合計			比率		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	R2年2月	43.9	41.5	105.9	32.0	35.4	90.3	75.9	76.9	98.7	57.9	42.1	R2年3月	46.7	39.6	118.1	42.7	42.5	100.4	89.4	82.1	108.9	52.2	47.8	R2年4月	46.7	47.3	98.8	44.4	44.8	99.1	91.1	92.1	98.9	51.3	48.7	R2年5月	36.1	46.6	77.5	36.6	41.0	89.2	72.7	87.6	83.0	49.7	50.3	R2年累計	215.0	216.8	99.2	195.0	206.2	94.6	410.0	423.0	96.9	52.4	47.6						
品名	鶏肉			調製品			合計			比率																																																																																										
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品																																																																																									
R2年2月	43.9	41.5	105.9	32.0	35.4	90.3	75.9	76.9	98.7	57.9	42.1																																																																																									
R2年3月	46.7	39.6	118.1	42.7	42.5	100.4	89.4	82.1	108.9	52.2	47.8																																																																																									
R2年4月	46.7	47.3	98.8	44.4	44.8	99.1	91.1	92.1	98.9	51.3	48.7																																																																																									
R2年5月	36.1	46.6	77.5	36.6	41.0	89.2	72.7	87.6	83.0	49.7	50.3																																																																																									
R2年累計	215.0	216.8	99.2	195.0	206.2	94.6	410.0	423.0	96.9	52.4	47.6																																																																																									
需	1. 家計消費	<p>(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、4月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量は4,518g(前年比125.3%)、金額は6,457円(同120.7%)となった。全国47都道府県に緊急事態宣言が発令され、在宅勤務や学校一斉休校等で内食需要が増加し消費が活発化した。牛肉は数量(同125.7%)・金額(同117.5%)ともに上回り、豚肉も数量(同119.7%)・金額(同121.4%)ともに上回った。鶏肉についても同様で牛肉・豚肉に比べ安価なこと及びCM効果でテーブルミート等の販売が順調で数量(同132.2%)、金額(同123.8%)とも前年を大きく上回った。また加工品についても前月同様「買いだめ需要」でハム(同112.4%)、ソーセージ(同115.3%)の数量も増加し</p>		<p>鶏肉の消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">数量</th> <th colspan="3">金額</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年2月</td> <td>1,402</td> <td>1,397</td> <td>100.4</td> <td>1,310</td> <td>1,298</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>R2年3月</td> <td>1,617</td> <td>1,428</td> <td>113.2</td> <td>1,451</td> <td>1,332</td> <td>108.9</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>1,805</td> <td>1,365</td> <td>132.2</td> <td>1,574</td> <td>1,271</td> <td>123.8</td> </tr> <tr> <td>R2年平均</td> <td>1,546</td> <td>1,405</td> <td>110.0</td> <td>1,411</td> <td>1,312</td> <td>107.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">※参考資料:総務省統計局HP</p>								履歴	数量			金額			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R2年2月	1,402	1,397	100.4	1,310	1,298	100.9	R2年3月	1,617	1,428	113.2	1,451	1,332	108.9	R2年4月	1,805	1,365	132.2	1,574	1,271	123.8	R2年平均	1,546	1,405	110.0	1,411	1,312	107.5																																																
	履歴	数量			金額																																																																																															
		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																													
R2年2月	1,402	1,397	100.4	1,310	1,298	100.9																																																																																														
R2年3月	1,617	1,428	113.2	1,451	1,332	108.9																																																																																														
R2年4月	1,805	1,365	132.2	1,574	1,271	123.8																																																																																														
R2年平均	1,546	1,405	110.0	1,411	1,312	107.5																																																																																														
2. 量販・卸	<p>(1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、5月の食品売上高は全店ベースで前年比112.6%と上回り、生鮮3部門の売上高も全店ベースで前年比116.7%、既存店ベースでも同115.1%と上回った。畜産部門の売上高は1,231億円で全店ベース(同119.2%)、既存店ベース(同117.5%)とも前月に続き大きく上回った。「外出自粛による家庭内消費の増大により需要が高い状況が続くなか、GW期間の焼肉やBBQ需要は減少したものの、牛・豚・鶏肉、ソーセージやハムなどの加工肉すべてのカテゴリーが好調となった。牛肉は外食営業自粛などの影響で、特に和牛相場下落がみられたことで高単価牛肉が好調となった。豚肉や鶏肉の一部には欠品もみられたが、炒め物や餃子用など調理用商材の売れ行きがよかった。」と報告された。逆に総菜部門の売上高は全店ベース(同98.7%)既存店ベース(同97.8%)ともやや不調となった。「外出自粛による行楽向け、イベント中止による大人数用総菜、家庭内調理機会の増加による中食需要の低下、ばら売り販売中止が影響した。外出自粛の緩和が行われた月後半からやや持ち直しの動きもみられた。」と報告があった。</p>		<p>相場(年別・暦年) 単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>もも肉</th> <th>むね肉</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年</td> <td>626</td> <td>294</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>H27年</td> <td>639</td> <td>336</td> <td>975</td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>621</td> <td>255</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>626</td> <td>315</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>595</td> <td>282</td> <td>877</td> </tr> <tr> <td>R元年</td> <td>585</td> <td>243</td> <td>828</td> </tr> </tbody> </table>									もも肉	むね肉	計	H26年	626	294	920	H27年	639	336	975	H28年	621	255	876	H29年	626	315	941	H30年	595	282	877	R元年	585	243	828																																																														
	もも肉	むね肉	計																																																																																																	
H26年	626	294	920																																																																																																	
H27年	639	336	975																																																																																																	
H28年	621	255	876																																																																																																	
H29年	626	315	941																																																																																																	
H30年	595	282	877																																																																																																	
R元年	585	243	828																																																																																																	
3. 業務・加工筋	<p>(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる4月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比101.1%の5.15千トとなった。うち国内物は同103.5%の4,387千トと大幅に増加したものの、輸入物は同89.5%の0.763千トと下回った。サラダチキンを含むその他ハムは今回2割近く減少しており、他の品目で鶏肉使用が増加したと思われる。鶏肉加工品は5月以降も引続き家庭内需要や中食需要の高まりから動きも堅調と考えられ、逆に中国等からの調整品輸入が減少となっていることを考えると国産物での製造量増加が期待できると思われる。</p>		<p>在庫状況 単位:千トン、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">国産</th> <th colspan="3">輸入品</th> <th colspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年1月</td> <td>29.3</td> <td>27.5</td> <td>106.8</td> <td>136.8</td> <td>134.7</td> <td>101.6</td> <td>166.1</td> <td>162.1</td> <td>102.5</td> </tr> <tr> <td>R2年2月</td> <td>29.8</td> <td>28.8</td> <td>103.3</td> <td>137.9</td> <td>130.0</td> <td>106.1</td> <td>167.7</td> <td>158.9</td> <td>105.6</td> </tr> <tr> <td>R2年3月</td> <td>31.1</td> <td>27.7</td> <td>112.5</td> <td>139.3</td> <td>124.7</td> <td>111.7</td> <td>170.4</td> <td>152.3</td> <td>111.9</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>27.2</td> <td>30.7</td> <td>88.5</td> <td>144.5</td> <td>122.4</td> <td>118.0</td> <td>171.7</td> <td>153.2</td> <td>112.1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構</p>								履歴	国産			輸入品			合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R2年1月	29.3	27.5	106.8	136.8	134.7	101.6	166.1	162.1	102.5	R2年2月	29.8	28.8	103.3	137.9	130.0	106.1	167.7	158.9	105.6	R2年3月	31.1	27.7	112.5	139.3	124.7	111.7	170.4	152.3	111.9	R2年4月	27.2	30.7	88.5	144.5	122.4	118.0	171.7	153.2	112.1																															
履歴	国産			輸入品			合計																																																																																													
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																											
R2年1月	29.3	27.5	106.8	136.8	134.7	101.6	166.1	162.1	102.5																																																																																											
R2年2月	29.8	28.8	103.3	137.9	130.0	106.1	167.7	158.9	105.6																																																																																											
R2年3月	31.1	27.7	112.5	139.3	124.7	111.7	170.4	152.3	111.9																																																																																											
R2年4月	27.2	30.7	88.5	144.5	122.4	118.0	171.7	153.2	112.1																																																																																											
在	1. 令和2年4月	<p>(1) 推計期末在庫は国産27.2千ト(前年比88.5%・前月差△3.92千ト)、輸入品144.5千ト(同118.0%・同+5.17千ト)と合計で171.7千ト(同112.1%・同+1.26千ト)となった。生産量が3.3千ト増加し、輸入量は前月並み。国産品の出回り量が生産量を上回ったため、国産品の在庫は減少した。輸入品は、外食関連の需要減から出回り量が約3.7千ト減少の41.53千トだったものの在庫は増加し、前年からも上回った。</p>		<p>相場(月別) 単位:円、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">もも肉</th> <th colspan="3">むね肉</th> <th colspan="3">正肉合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年3月</td> <td>575</td> <td>628</td> <td>91.6</td> <td>243</td> <td>238</td> <td>102.1</td> <td>818</td> <td>866</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>581</td> <td>601</td> <td>96.7</td> <td>241</td> <td>232</td> <td>103.9</td> <td>822</td> <td>833</td> <td>98.7</td> </tr> <tr> <td>R2年5月</td> <td>609</td> <td>583</td> <td>104.5</td> <td>254</td> <td>227</td> <td>111.9</td> <td>863</td> <td>810</td> <td>106.5</td> </tr> <tr> <td>R2年6月</td> <td>610</td> <td>561</td> <td>108.7</td> <td>257</td> <td>226</td> <td>113.7</td> <td>867</td> <td>787</td> <td>110.2</td> </tr> <tr> <td>R2年7月</td> <td>(595)</td> <td>543</td> <td>109.6</td> <td>(260)</td> <td>222</td> <td>117.1</td> <td>(855)</td> <td>765</td> <td>111.8</td> </tr> <tr> <td>R2年8月</td> <td>(580)</td> <td>535</td> <td>108.4</td> <td>(260)</td> <td>225</td> <td>115.6</td> <td>(840)</td> <td>760</td> <td>110.5</td> </tr> <tr> <td>R2年平均</td> <td>599</td> <td>612</td> <td>97.9</td> <td>252</td> <td>242</td> <td>104.1</td> <td>851</td> <td>854</td> <td>99.6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">※()は見通し ※1-6月平均</p>								品名	もも肉			むね肉			正肉合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R2年3月	575	628	91.6	243	238	102.1	818	866	94.5	R2年4月	581	601	96.7	241	232	103.9	822	833	98.7	R2年5月	609	583	104.5	254	227	111.9	863	810	106.5	R2年6月	610	561	108.7	257	226	113.7	867	787	110.2	R2年7月	(595)	543	109.6	(260)	222	117.1	(855)	765	111.8	R2年8月	(580)	535	108.4	(260)	225	115.6	(840)	760	110.5	R2年平均	599	612	97.9	252	242	104.1	851	854	99.6
	品名	もも肉			むね肉			正肉合計																																																																																												
当年		前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																											
R2年3月	575	628	91.6	243	238	102.1	818	866	94.5																																																																																											
R2年4月	581	601	96.7	241	232	103.9	822	833	98.7																																																																																											
R2年5月	609	583	104.5	254	227	111.9	863	810	106.5																																																																																											
R2年6月	610	561	108.7	257	226	113.7	867	787	110.2																																																																																											
R2年7月	(595)	543	109.6	(260)	222	117.1	(855)	765	111.8																																																																																											
R2年8月	(580)	535	108.4	(260)	225	115.6	(840)	760	110.5																																																																																											
R2年平均	599	612	97.9	252	242	104.1	851	854	99.6																																																																																											
庫	2. 見通し	<p>(1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月25日公表)では、5月は国内生産量が前月より微減(△1.2千ト)し、輸入量も前月比で約5.2千ト減少、出回り量も前月比で約2.8千ト減少するため期末在庫は約169.4千トと前月より約2.3千ト減少するも、前年(152.8千ト)より約10.9%増加の約169.4千トの見通しとなっている。</p> <p>(2) 6月は前月比で生産量は前月並み(141.3千ト)、輸入量がブラジル中心に2.9千ト増加し、出回り量は3.8千ト減少することから期末在庫は国産・輸入品合計で4.5千ト増加の173.9千ト(前年比113.2%)と予測されている。7月は生産量が8千ト減少する反面、輸入量が4.6千ト増加し、出回り量も7.6千ト増加するため、在庫は6.6千ト減少の167.3千ト(前年比106.8%)と予測されている。前月に続き新型コロナウイルスの影響による需給動向に注視が必要である。</p>																																																																																																		
	1. 6月動向	<p>(1) 6月の平均相場は、もも肉610円/kg(前月比+1円)・むね肉257円/kg(同+3円)正肉合計で867円/2kgと前月比で4円上回り、前年比でも80円上回った。もも肉は月初612円で始まり、多少の変動はあったものの保ち合い圏内で推移し月末609円と結果3円安となった。むね肉は、もも肉と同様で、月初258円・月末259円と1円高と保ち合い圏内となった。緊急事態宣言のさなか、例年であれば下げ相場のところ国内食需要が引き続き強く量販店等からの引き合いに左右された格好になったと思われる。</p>																																																																																																		
相	2. 7月見通	<p>(1) 気象庁発表のこの先1か月の気温は、夏の高気圧が勢力を強め全国的に高くなるとの予報。緊急事態宣言が解除されたものの以前の様な日常生活には戻っておらず先行きは不透明な状態のまま。月中多少の上昇下降はあると思われるが、もも肉は月平均595円のやや下げと予測する。むね肉については、加工筋からの引合いも堅調であるため、保ち合い圏内の月平均260円と予測する。</p>																																																																																																		